

5 先端的基礎研究がもたらす免疫IIR/IISの可能性

したら こうへい
設楽 紘平

国立がん研究センター東病院 消化管内科 医員

国立がん研究センター東病院においては、臨床部門と免疫TR部門、病理部の共同研究として固形がん患者の腫瘍局所・末梢血における免疫プロファイリングを行う研究が進行中である。分子標的剤や免疫治療に伴う免疫プロファイルの変化を観察することと、臨床試料及び診療情報等をバイオリソースバンク・データベースとして保管し、免疫治療開発の研究基盤とすることを目的としている。現在8つの企業との臨床・非臨床の共同研究が進行中であり、また本研究で得られた知見から立案された内容を含む4つの免疫療法の医師主導治験が進行・計画中であり、これまでの取り組みを紹介する。